

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果と学位論文等審査基準の対応マップ

		卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果			
		1	2	3	4
学位論文審査基準	1	◎		○	○
	2				
	3	◎	◎	◎	
	4		○	○	
	5	◎			○
	6			○	

政治学研究科博士前期課程の特定課題研究を評価するためのルーブリック

	最高段階	2 番目の段階	最低段階
研究課題の明確性	各自の問題関心に沿った研究課題が明確に定められている。	各自の問題関心は有するものの、それに沿った研究課題が明確に定められていない。	各自の問題関心を有しない。
課題を追求する方法論の適切性	研究課題を追求するための適切な方法について検討を行い、それが採用されている	研究課題を追求するための適切な方法について検討を行ったものの、それが採用されていない。	研究課題を追求するための適切な方法について検討を行っていない。
研究方法及び調査方法の妥当性	研究課題を解明するために必要不可欠な資料やデータなどを収集し、その分析や処理が客観的になされている。	研究課題を解明するために必要不可欠な資料やデータなどを収集したものの、その分析や処理が客観的になされていない。	研究課題を解明するために必要不可欠な資料やデータなどを収集していない。
研究の成果の妥当性	研究を通じて得られた成果が、研究課題を説得的に解明したものとなっている。	研究を通じて成果が得られたものの、研究課題を説得的に解明したものとなっていない。	研究を通じて特に成果が得られていない。
研究の新規性	当該研究分野において他の研究との差異化が図られ、あるいは独自性を有している。	他の研究との差異化を図ろうとしたことが見てとれる。	他の研究との差異化が図られていない。
その他	研究倫理が遵守されている。また学術論文としての体裁が整ったものである。	学術論文としての体裁は整っていないものの、研究倫理が遵守されている。	研究倫理が遵守されていない。